# 武蔵野市立保健センターにおける健診・検診機能について





令和4年4月28日(木) 武蔵野市立保健センター機能充実検討有識者会議(第1回) 資料

# 第4期健康推進計画・食育推進計画における健診・検診事業に関する記述

第五期長期計画・	施策		主な事業
調整計画基本施策	基本施策1:予防を重視した健康診査等の	り推	進
	(小) 体	拡充	健康診査の実施と受診勧奨
	(1)健康診査・保健指導等の充実	新坦	保健指導等の充実
	(.) (.) (.) (.)		がん検診の実施と受診勧奨
	(2)がん検診の実施と精度管理の推進	拡充	がん検診に関する普及啓発と精度管理の推進
	基本施策2:市民の主体的な健康づくり。	- 生	活習慣改善の支援
			食習慣の形成・維持・向上に向けた取り組み
	(1)健康な食生活の推進	新規	個々の栄養課題の解決に向けた支援
			食に関する情報発信の充実
			身体活動・運動に関する事業の実施
誰もがいつまでも健康			運動習慣の定着に向けての支援
な生活を送るための健 慶づくりの推進	(2)身体活動や運動を習慣づけるための支援		身近な地域の資源の活用
			効果的な情報発信の充実
			むし歯予防と歯周疾患検診の実施
	(3)歯と口腔の健康維持に向けた取り組み		歯・口腔機能の発達と維持・向上に関する啓発
			たばこの影響に関する啓発
	(4)たばこによる健康への影響の周知と対策		受動喫煙防止対策の推進
	(5)アルコールによる健康への影響の周知と対策		アルコールの影響に関する啓発
			メンタルヘルスに関する知識の普及
	(6)休養・こころの健康づくりの推進		相談窓口・関係機関の連携強化
		新規	自殺対策計画(仮称)の策定
	基本施策3:市民の生命と健康を守る環境	竟づ	 くりと連携の強化
#ナゼルサッカス! マ	(1)医療ネットワークの充実		医療機関の連携体制の維持・推進
誰もが地域で安心して 暮らしつづけられる仕			在宅療養生活を支える仕組みづくり
組みづくりの推進			災害時医療体制の充実
	(2)災害時対応の充実	拡充	災害時保健衛生活動体制の整備の検討
## 1 101			健康危機への予防対策の推進
誰もがいつまでも健康 な生活を送るための健	(3)健康危機管理対策の推進		感染症拡大防止対策の推進
康づくりの推進	(C) MAN CONTRACTOR OF THE CONT	新規	予防接種による疾病予防の推進
誰もがいつまでも健康	基本施策4:妊娠期から子育て期までの!		
な生活を送るための健	本本記录→・妊娠初がり j 自 c 初ま c の 。		個別支援の充実
康づくりの推進			妊娠期からの切れ目ない支援の拡充
※子ども自身の育ちと子育で 家庭への総合的支援	(1)妊娠期からの母子保健(ゆりかごむさしの)事		安振期からの切れ日ない又接の拡充 子どもに育てにくさを感じる親への支援の拡充
K座への総合的文法 ※地域社会全体の連携による 子ども・子育て支援の充実	業の推進		
			虐待予防への対応強化
		-	関係機関との連携強化
	(2)子どもの成長を見守る連携の推進	新規	子どもに関係する様々な機関との連携強化
	(=, , _ 0 = 1,00 K C) 0 1 0 X L) 3 17 1 L Z	新規	子どもの成長に包括的・継続的に寄り添う仕組みの検討

37.19	. <del>T</del> C	ъ.	叙目	] 万 對	が登	4 肥牙

主な事業	内 容			
健康診査の実施と受診	・健康診査の実施			
勧奨	若年層健康診査、特定健康診査、後期高齢者健康診査、生活 保護受給者の健康診査、集合契約に基づく特定健康診査、明 科健康診査、人間ドック			
	・検診の実施			
	肝炎ウイルス検診、若年層胸部検診、骨粗しょう症予防教室			
	・受診勧奨の推進			
	特定健康診査受診勧奨拡充			
	若年層健康診査受診勧奨拡充			
保健指導等の充実	・特定保健指導の実施			
	・保健指導の充実			
	生活習慣病重症化予防事業の実施の検討新規			
	非肥満者に対する生活習慣病予防事業の実施の検討新規			
	若年層に対する保健指導の実施の検討新規			
	健康診査結果情報提供の充実拡充			
	・医師・保健師等による健康相談(予約制)の実施			
	・電話による健康なんでも相談(随時)の実施			

主な事業	内 容
がん検診の実施と受診勧奨	・がん検診の実施
	胃がん、肺がん、大腸がん、子宮がん、乳がん
	・がん検診の受診勧奨
	・肝炎ウイルス検診(再掲)
がん検診に関する普及啓発	・がん検診に関する情報発信拡充
と精度管理の推進	がん検診の有効性、定期的な検診の重要性、精密検査受診
	の重要性の啓発
	・がん検診追跡調査
	精密検査未受診者の特定及び精密検査受診勧奨
	精密検査結果の把握

主な事業	内容
医療機関の連携体制	・吉祥寺地区の病院機能を維持するための取組
の維持・推進	・武蔵野赤十字病院への必要な支援実施
	・市内の医療体制の維持・整備に向けた取組
	・かかりつけ(医師・歯科医師・薬局(薬剤師))制度の推進
	・地域包括ケアシステム推進に向けた関係機関への働きかけ
	・救急医療体制を維持するための連携
在宅療養生活を支える	・市民の病状の急変時等に受け入れられる医療機関の整備と活
仕組みづくり	用ルールの協議
	・在宅医療・介護連携推進協議会を中心とした、多職種が連携して
	市民の在宅医療を支える仕組みづくりの推進

# 基本計画(素案)における健診・検診事業の記述(1)

(3)一人ひとりの主体的な健康づくりの促進を図り、"健康長寿のまち武蔵野"を推進する…【基本方針③】長期計画 1 健康・福祉 基本施策1ー(1)関連 <安全・安心に様々な健診・検診を受けられる環境の整備>

#### 〔課題・背景〕

- ③老成人の健(検)診を実施する武蔵野健康づくり事業団の健(検)診スペースが、中庭のスペースが使用できないために非効率な動線となっているうえ、検診着を着たまま一般来館者が往来する通路を行き来する状態となっており、空調や他者の視線等の受診環境の改善が必要である。
- ④<u>福祉施設利用者など一般の医療機関では受診が難しい方</u>への健康診断を積極的に実施しており、**多様な受診者がストレスなく安心して受診できる環境の整備**が必要である。

#### [役割・機能]

円滑に移動でき、感染対策を徹底した健(検)診環境の整備

同一フロア内で乳幼児健康診査が実施できる体制を構築し、円滑に移動できることで<u>受診者側・主催者側に負担が少なく、分かりやすい健診環境</u>を構築する。待合室や健診室等で密にならないようなスペースを確保し、かつ回遊性のある極力一方通行な流れで健診が行える動線を構築する。<u>老成人の健(検)診を実施する武蔵野健康づくり事業団の健(検)診環境についても同様に改善を図る。</u>

# 基本計画(素案)における健診・検診事業の記述(2)

(4)地域医療機関の充実と連携強化を推進する …【基本方針④】長期計画 1 健康·福祉 基本施策2-(1)関連 <市内の地域医療体制の確保とネットワークの強化>

#### 〔課題・背景〕

③保健センター開設当時には高度な医療検査機器を導入し、保健センターにて検査を受けられる環境を整備してきたが、その後の各医療機関での検査体制の充実や市民の検査ニーズの変化等から、必要とされる機器等を変更する必要も生じている。

#### 〔役割・機能〕

地域医療機関等からの依頼による各種検査の連携実施機能の確保

武蔵野健康づくり事業団及び医師会臨床検査センターの移設に際して、現在実施している 医療機関からの依頼による「CTやX線等の検査機器を利用した依頼検査」や「検体検査」に ついて、保健センター開設時とは各医療機関の環境や市民の医療ニーズも変化しているこ とから、<u>社会情勢に応じて機器の精査や諸室規模の適正化</u>を行いつつ、<u>医療の高度化・多</u> <u>様化に対応するために引き続き必要な検査を実施していける機能</u>を確保していく。

# 保健センターで実施する主な健診・検診事業(医療機器を使用)

健(検)診	内容
各種がん検診	胃がん検診、肺がん検診、乳がん検診など(市) ※がんセット検診(胃がん・肺がんセット検診、40歳からの 女性のためのがん検診など)
地域医療機関との連携による検査事業	①各医療機関の診療において必要となる検査を、健康づく り事業団が保有する医療機器を用いて実施している。(以降、 「依頼検査」)(事業団) ②特定健診の付加項目である上部消化管X線検査(65歳以上)、 胸部X線検査及び心電図検査を実施している。(以降「付加 項目検査」)(事業団)
職域健診	市内の小規模事業所等を対象に健康診断(採用時・定期) や市内在住、在勤、在学者を対象として、診断書発行目的 の個人健康診断などを実施している。(事業団)
総合健康診査(人間ドック)	基本項目検査及びオプション検査を実施(事業団)

※(市);市の委託事業 (事業団);健康づくり事業団自主事業

# 健康づくり事業団が保有する医療機器と主な用途

	機	器	名	取得年月	
1	一般撮影月	用X線装置		H27.4	
1	一般X線抽	最影装置		H25.12	
1	一般撮影月	用フラットハ゜ネル	<b>・・</b> 〒゛ィテクタ	H25.12	
2		X 線透視撮 ム検査装置		H21.8	
2		X 線透視撮 ム検査装置		R4.1	用
3	乳房 X 線技	最影装置 グラフィ−)		H27.7	蒁
4	X線コンピュ (CT)	タ断層撮影	影装置	H23.12	
5	超音波画像 (エコー)	象診断装置		H27.7	
	心電計(解	!析機能付)		R1.9	
	C R装置(	<u>(</u> アナロク゛テ゛ータ	をデジタル変換)	H21.7	
	無散瞳眼原	底カメラ		H27.3	
	レーサ゛ーイメーシ	v*ャー(フィルムヤ	乍成)	H27.7	
	聴力検査場	<b></b>		H24.10	
	検診用オーシ	。゛オメーター(聴	i力)	H25.2	
	血圧脈波標	<b>倹査装置</b>		H20.6	
	自動身長言	計付体組成	計	H23.7	
	自動視力記	<del> </del>		R2.3	
	非接触眼兒	王計		R2.3	
	マイクロス	スパイロ(	肺活量)	R1.9	

	① 一般撮影 用X線装置	② デジタルX線 透視撮影装置 (バリウム検 査装置)	③ 乳房 X 線撮 影装置 (マンモグ ラフィー)	④ X線コン ピュータ断層 撮影装置 (CT)	⑤ 超音波画像 診断装置 (エコー)
胃がん検診		0			
肺がん検診	0				
乳がん検診			0		
依頼検査	0	0	0	0	0
特定健康診査	0	0			
職域健診	0	0			
人間ドック (基本)	0	0			0
人間ドック (オプション)	0		0	0	0

## 各種がん検診

## 胃がん検診

対象者;35歳以上で、前年度市の胃がん内視鏡検診を未受診の市民

## 実 績(保健センターと市内医療機関の実績数値)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	内、保健センター で検査
受診者	600	516	169%増 877	879	1, 085	667件 (61.4%)
受診率	1. 2%	1. 0%	2. 2%	2. 8%	4. 0%	(01.4/0)

第4期健康推進計画における胃がん検診の目標受診率 50%

東京都内における胃がん検診の平均受診率 10.5%(令和元年度)

※受診率は都に報告する受診率を使用 令和2度の例

(算定方法; (前年度受診者数+当該年度 受診者数-2年連続受診者数)/対象者数 ×100(対象者=50歳以上の人口×対象 人口率(51.3%))

## 保健センターで実施する胃がん検診の特色

- ・レントゲンによる唯一の胃がん検診(市内の医療機関では実施していない)
- ・平成30年度;胃がん・肺がんセット検診を開始
- ・令和元年度;「40歳からの女性のためのがん検診(乳がん・胃がん・肺がんセット検
  - 診)」を開始
- ※令和2年度から個別方式(市内医療機関)で胃がん内視鏡検査を開始

## 各種がん検診

### 肺がん検診

対象者;40歳以上の市民

### 実 績(保健センターと市内医療機関の実績数値)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	内、保健センター で検査
受診者	287	302	<b>254%增</b> 769	<b>166%增</b> 1, 283	1, 202	<b>768件</b> (63.8%)
受診率※	1. 2%	1. 0%	2. 2%	2. 4%	2. 5%	

第4期健康推進計画における肺がん検診の目標受診率 50%

東京都内における肺がん検診の平均受診率 10.5%(令和元年度)

※受診率は都に報告する受診率を使用 令和2度の例

(算定方法;当該年度受診者数/対象者数×100(対象者=40歳以上の人口×対象人口率(55.6%))

## 保健センターで実施する肺がん検診の特色

- ・平成30年度;胃がん・肺がんセット検診を開始
- ・令和元年度
  - ①保健センターの他、市内6医療機関においても検査を開始
  - ②「40歳からの女性のためのがん検診(乳がん・胃がん・肺がんセット検診)」を開始

# 各種がん検診

## 乳がん検診

対象者;40歳以上の女性で、前年度未受診の市民

実 績(保健センターと市内医療機関の実績数値)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	内、保健センター で検査
受診者	2, 179	1, 879	<b>67%增</b> 3, 149	<b>140%垮</b> 4, 431	3, 490	1,411件
受診率※	13. 7%	14. 2%	17. 7%	26. 3%	26. 8%	(40.4%)

第4期健康推進計画における乳がん検診の目標受診率 50%

東京都内における乳がん検診の平均受診率 20.6%(令和元年度)

※受診率は都に報告する受診率を使用 令和2度の例

(算定方法; (前年度受診者数+当該年度 受診者数-2年連続受診者数)/対象者数 ×100(対象者=40歳以上の人口(女 性)×対象人口率(64.1%))

## 保健センターで実施する乳がん検診の特色

・平成29年度;保健センターの他、市内3医療機関においても検査を開始

・令和元年度;「40歳からの女性のためのがん検診(乳がん・胃がん・肺がんセット検

診)」を開始

## 地域医療機関との連携による検査事業

## 依頼検査

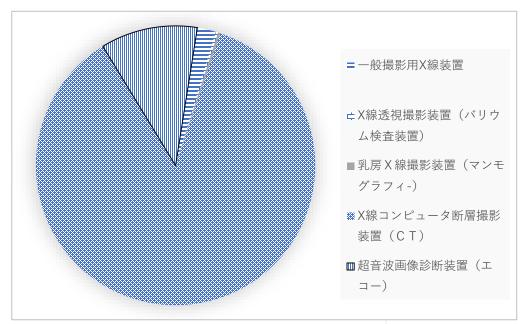
事業内容;各医療機関の診療において必要となっている検査を、依頼に基づいて保健セン ターで実施

#### 実 績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
検査件数	819	844	863	876	740

### 令和2年度機器別検査数

機器	件数	比率
一般撮影用X線装置	16	2. 1%
X線透視撮影装置 (バリウム検査装置)	2	0. 2%
乳房 X 線撮影装置 (マンモグラフィ-)	2	0. 2%
X線コンピュータ断層撮影装置 (CT)	637	86. 0%
超音波画像診断装置 (エコー)	83	11. 2%



## 地域医療機関との連携による検査事業

## 付加項目検査

事業内容;特定健診の付加項目である上部消化管X線検査(65歳以上)、胸部X線検査及び 心電図検査を各医療機関の依頼に基づいて実施

#### 実 績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
検査件数	713	680	566	586	545

#### 令和2年度機器別検査数

機器	件数
一般撮影用X線装置	118
X線透視撮影装置(バリウム検査装置)	326
心電計(解析機能付)	101

## 保健センターで実施する地域医療機関との連携による検査事業の特色

- ・依頼検査;毎年800件程度の検査を実施。検査種別については、X線コンピュータ断層撮影装置(CT)による検査が80%を超えている。
- ・付加項目検査;一般撮影用X線装置とX線透視撮影装置(バリウム検査装置)の検査件数は、依頼検査における 同種別の検査数(一般撮影用X線装置16件、 X線透視撮影装置(バリウム検査装置)2件)を大幅に上回っている。

## 職域健診

### 職域健診

事業内容;市内の小規模事業所等を対象に健康診断(採用時・定期)や市内在住、在勤、 在学者を対象として、診断書発行目的の個人健康診断などを実施している。

#### 実 績

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
検査件数	1,876	1,763	1,591	1,636	1,671

#### 令和2年度受診団体

団体	件数	団体	件数
武蔵野市	47	(公財)武蔵野生涯学習振興事業団	11
クリーンセンター付近住民	144	(一財)武蔵野市給食・食育振興事業団	118
(社福)親の家	12	武蔵野市商店会連合会	17
(社福)プラットホーム	12	自治労武蔵野市職員労働組合	2
(公財)武蔵野市福祉公社	77	(社福)武蔵野	590
(公財)武蔵野市子ども協会	30	(社福)武蔵野千川福祉会	158

記載のほか、民間企業等(43社) 344件

## 保健センターで実施する職域健診の特色

障害者福祉施設の受診数が全検査数の46%を占めている。

# 総合健康診査(人間ドック)

### 総合健康診査(人間ドック)

事業内容;基本項目検査として検便、採尿など13の検査と結果説明、栄養指導など総合的に実施し、胸部ヘリカルCTなど希望に応じて12のオプション検査を実施

#### 実 績(基本項目検査)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
検査件数	1,407	1,393	1,391	1,302	970

#### 令和2年度オプション検査受診者数

検査	人	検査	人
胸部へリカルCT検査	97	ペプシノゲン検査	50
頸動脈超音波検査	240	ピロリ菌検査	21
乳房検査	179	ABC検査	29
骨塩定量検査	111	腫瘍マーカー(セット)	524
C型肝炎検査	54	腫瘍マーカー(単独)	35
甲状腺ホルモン検査	88	延べ受診者数	1, 431

## 保健センターで実施する総合健康診査(人間ドック)の特色

受診者に対して、健康づくり事業団が行っている健康増進事業の案内をするなど、一次、二次予防の連携につながる取り組みを行っている。

# 保健センターで実施する主な健診・検診事業の特徴的な機能

現況機能	健診・検診事業
○各種がん検診において、セット検診や託児(月1回)など市民の利便性の向上に寄与する取り組みを実施し、受診率の向上を図っている。 ○市内医療機関でも実施しているがん検診(胃がん検診・肺がん検診・乳がん検診)については、保健センターで実施している検診が、検査件数の4割から6割を占めていることから、受診率の向上に大きく寄与している。	各種がん検診
〇依頼検査は、X線コンピュータ断層撮影装置(CT)のニーズは高い。	依頼検査
〇付加項目検査における「一般撮影用X線装置」と「X線透視撮影装置(バリウム検査装置)」の件数は、依頼検査の同検査より大幅に多い。それらの医療機器を持たない「かかりつけ医」においても特定健診の受診が可能となっている。	付加項目検査
〇職域健診については、障害福祉施設の受診者数が全体の46%を占めるなど、より 丁寧な対応を求められる方への健診を積極的に行っている。	職域健診
〇人間ドックは、一次、二次予防を実施する健康づくり事業団での実施であるため、両事業の連携による市民の健康増進に寄与している。	人間ドック